

## 【2019年第10号】

# 深圳：社会主義先行モデル地区の 建設を中国政府が後押し

2019年8月23日

張 小萍 CHEUNG SIU PING, PEGGY

アジア法人営業統括部  
アドバイザー室

T +852-2821-3782

E PEGGY\_SP\_CHEUNG@HK.MUFG.JP

株式会社 三菱UFJ銀行  
MUFG Bank, Ltd.  
(Incorporated in Japan with limited liability)  
A member of MUFG, a global financial group

中国共産党中央と国務院は8月18日、「深圳に中国特色的のある社会主義先行モデル区を建設するための意見」(以下「本意見」)を公表し、深圳を世界最先端都市へ更に発展させる方針を掲げた。本稿では、その内容について簡単に紹介したい。

### 1. 背景

深圳市は、改革開放に伴い、対外開放の重要窓口として中国初の経済特区の一つに指定され、漁村から世界の工場へ、そして華南地域を代表とするイノベーション基地として大きな変貌を遂げてきた。本意見で、中国政府は、深圳の役割を従来の経済・貿易制度改革のために特化した区域から、新時代における中国特性ある社会主義を建設するための全面的改革を先導する模範都市とする方針を打ち出し、具体的な戦略目標と時間軸での発展目標を掲げている。

### 2. 発展目標

本意見では2050年までの深圳の発展目標を時間軸で3つの期間に分けて設定し、それぞれの目標を明確化した。

《発展目標》



### 3. 5つの戦略目標と主要内容

本意見では、5つの戦略目標を掲げ、その改革方向性を基本とするそれぞれの方針を示した。

戦略目標・方向性	重要分野	内容(抜粋)
質の高い発展を推進 現代化経済体系の建設	イノベーション発展の加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 深圳を主要基地とする総合的な国家科学センターの建設を支持、大湾区国際科学技術革新センターの建設において鍵となる役割を發揮させる</li> <li>● 5G、AI、サイバー空間科学、生命情報科学<sup>1</sup>、バイオ医薬研究室、国際科学技術情報センター、革新的な医学科学院などのイノベーションプラットフォームの建設を支持</li> <li>● 知的財産権の証券化を検討し、知財取引センターを構築</li> <li>● 深圳企業による域外 R&amp;D 機構の建設を支持</li> <li>● 域外人材の誘致と出入境管理制度をより開放し便利化する</li> <li>● 永住資格を持つ国際人材が深圳で科学技術型企業設立や科学技術研究機関の法人代表となることを承認</li> </ul>
	新興産業の育成と現代産業体制の構築を加速	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新興産業を育成し、未来ハイエンド通信機器、高性能医療機器等領域における深圳の製造業イノベーションセンターを構築</li> <li>● 市場進出・監督体制の改革パイロットを展開し、スマートエコノミーやヘルスケア産業を振興</li> <li>● 実体経済に対する金融の貢献度を引き上げ</li> <li>● 創業板の発行制度、追加融資・企業買収ルール等金融体制を改善</li> <li>● 深圳でのデジタルマネーの研究やスマホ決済等の革新的な応用を支持</li> <li>● 香港・マカオの金融市場との連携強化、金融商品(ファンド)との相互承認を促進</li> <li>● 更なる人民元国際化の先行試験を実施し、クロスボーダーでの金融市場の監督能力を強化</li> </ul>
	改革開放の深化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 財産権制度を改善し、法律に沿って各種の所有制経済組織と市民の財産権を保護</li> <li>● 深圳における国有企業の地域性総合改革、外貨管理策の改革試行を支持</li> <li>● 深圳で国際組織・機構の進出、国際イベントの主催を推進</li> <li>● 海洋大学と国際海洋開発銀行の設立を検討</li> </ul>
	大湾区 <sup>2</sup> の建設を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前海深港現代サービス協力区の改革開放をさらに深める</li> <li>● 「深圳・香港科学技術革新特別協力区」<sup>3</sup>の建設を加速</li> </ul>
法治モデル都市 法制化ビジネス環境の創出	法治環境を改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 党の指導下で市民の政治参加を拡大</li> <li>● 経済特区に与える立法権の活用に加え、改革のニーズに応じて法律、行政法規、地方法規の運用に融通を利かせる権限を深圳に認める</li> </ul>
	政府の管理とサービスを改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業の破産制度を改善</li> <li>● 「放管服」<sup>4</sup> 改革を一層深め、権利リスト、責任リスト、ネガティブリスト制度を推進</li> </ul>
	社会統治の現代化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビッグデータやクラウド、人工知能(AI)などの技術を包括的に駆使し、社会統治の智能化、専門化を促進</li> <li>● 社会信用体系を強化し、統一された社会信用プラットフォームの先行構築を支持</li> <li>● スマートシティの建設を加速、深圳市で大湾区を管轄するビッグデータセンターを建設</li> <li>● データの所有権・プライバシー保護メカニズム、インターネット情報セキュリティを改善</li> </ul>

<sup>1</sup> 生物学のデータを情報科学の手法によって解析する学問および技術

<sup>2</sup> 香港・マカオ・広東省グレートベイエリアの略称

<sup>3</sup> 深圳と香港が落馬洲河沿地区に共同開発のプロジェクトで、両岸の科学技術資源の統合と共有によってイノベーションの相乗効果を生み出すことを目指す

<sup>4</sup> 「放管服」は簡政放権(行政簡素化と権限委譲)、放管結合(権限委譲と管理の両立)、優化服務(サービスの向上)の略称。「放管服」の改革は政府の権限を削減し、市場の利便性と公平性を高めることを目指すもの

都市文明の模範	都市文明の建設を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>• レベルの高い公共文化サービス体系を構築</li> <li>• 香港・マカオとの文化交流を通じ文化統合を進める</li> </ul>
レベルの高い公共文化サービス体系と現代文化産業体系の構築	文化産業・旅行業の競争力を向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デジタル文化、クリエイティブ文化産業の発展を支持、香港・マカオとの産業連携を促進</li> <li>• イノベーション・クリエイティブ関連学院を設立し、国際的な中国文化ブランドを育成</li> <li>• 国際クルーズターミナルの建設を推進し、国際航線の増加と出入境手続きの簡素化を検討</li> <li>• ターミナルの建設を推進し、国際航線の増加と出入境手続きの簡素化を検討</li> </ul>
幸福な国民生活の規範 最適な社会保障システムの整備	教育と医療制度の改革を強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高等学校の自主運営を実践し、一流大学と一流学科の創設を加速</li> <li>• 香港・マカオからの投資により設立された医療機構へ便利措置を提供</li> <li>• 国際的な一流医療サービスと革新的な医療保障制度の構築を促進</li> <li>• 海外ライセンス医による医療行為への規制を緩和</li> </ul>
	社会保障システムの最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 統一された社会保険公共サービスプラットフォームの利用を促進し、社会保険カードをプラットフォームとする「1カード」サービス管理モデルを構築</li> <li>• 深圳で就業・生活する香港・マカオ住民に居住権を与え、深圳市民と同様の待遇を提供</li> </ul>
持続可能な発展の先鋒 自然環境と調和した都市開発の実現	生態文明制度の改善とグリーンシティを建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グリーン成長をベースとする生態文明評価体系を構築し、環境信用評価、情報開示義務等環境保護策、環境公益訴訟システムを改善</li> <li>• 重要なエコシステムの保護と修復プロジェクトを実施</li> <li>• 大湾区の共同の災害救助を促進</li> <li>• グリーン産業・グリーン消費・グリーン金融の発展を促進</li> </ul>

#### 4. まとめ

習近平総書記の指導理念に従い、中国の特色ある社会主義は新時代に突入しつつある。深圳は、改革開放以来、“中国の夢”を実現するための重要な先鋒地域であり、本意見では、従来の経済特区から、経済に限らず、法律、社会生活、文化や環境等、オールラウンドの発展を牽引する新たな役割を深圳に与える方針を示している。従来深圳市主導で進めてきた改革は、今後中国政府の後押しにより、さらにスピード感を持って、高いレベル、広い範囲で推進され、目標を達成することが見込まれるが、今後、深圳が本意見に沿った関連政策を策定し、それをどの程度実践できるかが鍵となるであろう。

また、本意見の冒頭では、大湾区の発展をさらに進め、「一国二制度」政策の新たな実践を充実させるとしており、経済・文化交流や共同災害救助など、香港・マカオとの経済・文化統合を目指す方針も盛り込まれている。今後、香港も自身の優位性を発揮し、深圳との協力を更に強化することで、大湾区の建設に積極的に参画し、協同で発展する姿勢が求められるであろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しく申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。

Copyright 2019. MUFG Bank, Ltd. Hong Kong Branch. All rights reserved.